

## 宮本正則さんへ「松浦市名誉市民」称号を贈呈

宮本正則元鷹島町長（鷹島・阿翁浦、88）への松浦市名誉市民の称号贈呈式が5月24日、松浦市議会議場において執り行われました。松浦市名誉市民の称号は、公共の福祉の増進や産業、文化の発展に貢献し、その功績が大きく社会の尊敬を受ける本市住民や本市にゆかりの深い人に対し、功績と栄誉をたたえるために市長が贈呈するものです。

宮本元町長は、旧鷹島町議会議員、旧鷹島町教育委員会教育長などの要職を歴任され、昭和62年からは、旧鷹島町長として町勢発展に努められました。

特に、宮本元町長の永年にわたる尽力によって、鷹島肥前大橋の架橋が実現し、地域住民の暮らしや利便性は飛躍的に向上しました。また、元寇にまつわる鷹島海底遺跡の発掘調査の必要性を説いたことが契機となり、平成24年、鷹島神崎遺跡が海底遺跡として日本初の国史跡に指定されました。

さらに、農業の振興を図るための畑地帯総合整備事業を推進し、事業に不可欠であった水の確保のために、海中ダムの実現にも尽力されました。

その功績は誠に大なるものであり、鷹島肥前大橋架橋から10年の節目を迎えた今回、名誉市民の称号を受章されました。名誉市民は7人目となります。

宮本元町長は「これまで支えてもらったことへの恩返しをしたい」と話しました。



4月30日付けで人権擁護委員を退任された島田茂明さん（福島・日の浦、68）へ、6月6日に法務大臣からの感謝状が伝達されました。

島田さんは、平成26年7月から4年10カ月にわたり、人権擁護委員として地域の人たちに寄り添った人権相談への対応や人権思想の啓発活動を行ってきました。その功績に対し、法務大臣から感謝状が贈られたものです。

友田市長が、「大変で苦勞も多いが、とても重要な仕事です。長い間お疲れ様でした。」とねぎらいの言葉をかけ、島田さんは、「いじめの問題が一番難しく、今後の課題である」と活動を振り返っていました。

### 人権擁護委員感謝状受賞



鷹島小学校が、平成31年度子供の読書活動優秀学校として、4月23日の「子ども読書の日」に文部科学大臣表彰を受けました。

この表彰は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、団体（個人）に対して文部科学大臣が表彰するものです。鷹島小学校は、全校を挙げて共通理解、共通実践をテーマに読書活動の推進を図っており、児童一人当たりの年間読書冊数は67.8冊（平成24年度）から159.3冊（平成29年度）と大幅に増加し、すきま時間、机の中から本を取り出して読む児童の姿や昼休みに本を借りに行く姿が日常の光景になっています。

### 子ども読書の日 文部科学大臣表彰

# 受賞おめでと

名誉市民称号贈呈、春の叙勲・危険業務従事者

## 春の叙勲

### 旭日小綬章（地方自治功労）

吉山 康幸さん

（志佐・池成、72）



昭和62年に松浦市議会議員に当選され、平成10年12月までの3期11年6カ月にわたり在職されました。この間、教育民生委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任するなど、議会運営に多大な貢献をされました。平成11年1月には松浦市長に当選され、平成17年12月までの2期6年11カ月にわたり地方自治の推進に大きく寄与されました。この間、一市二町での合併協議の調整、総合水産基地内への「おさかなドーム」建設、水産加工団地への企業誘致、体験型旅行事業の推進、道の駅「松浦水軍の郷海のふるさと館」の建設など市勢発展に向け尽力されました。

## 危険業務従事者叙勲

### 瑞宝単光章（消防功労）

前田 政文さん

（調川・松山田、70）



昭和48年4月1日に松浦地区消防組合消防吏員として採用されて以来、36年の長きにわたり消防・救急業務に精励されました。平成12年に消防司令、平成14年から消防司令長を務められ、地域消防の発展に寄与されました。謹厳実直な性格と職務に取り組む姿勢から責任感が強く、広い見識と指導力が高く評価され、他の職員の模範的存在となりました。平成9年に志佐町で発生した林野火災では、隊長として現場を指揮し、適切な状況判断と的確な現場指揮により、被害を最小限に食い止めるなど、地域の安全に大きく貢献されました。

## 九州管区行政評価局長表彰受賞

行政相談委員の徳田芳朗さん（福島・播磨釜、68）が、多年にわたる行政相談委員の功績から、九州管区行政評価局長表彰を受賞。5月28日、ホテルセントヒル長崎（長崎市）で表彰式が行われました。

徳田さんは平成18年9月に、総務大臣から本市担当の行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は、無報酬のボランティアとして国など役所の仕事に関する住民からの相談を受け付けて解決を図ります。徳田さんは、「これからも、この名誉ある表彰の名に恥じぬよう、住民と行政を繋ぐ架け橋となって、皆様のお役に立てるよう頑張りたい」と話しました。



## 長崎県知事賞受賞

松浦市消防本部の千葉秀之消防副士長が、5月24日に開催された第36回長崎県消防救助技術指導大会において、はしご登はんの部に出場しました。

はしご登はんの部は、塔前5段からスタートし、自己確保の結索を行ったあと、垂直はしごを15段登はんし、安全性、確実性とあわせて所要時間を評価します。

この大会で、千葉副士長は、14秒74の好タイムで見事優勝し、長崎県知事賞を受賞。8月に岡山県で開催される全国大会に出場します。

6月7日、市長に報告を行った千葉副士長は、「必ず入賞し、貴重な経験をこれからの消防人生に活かしたい」と意気込みを語りました。

